

# 「常呂川下流地区水害タイムライン検討会」(第5回)

令和2年2月13日に常呂町多目的研修センターにおいて、「常呂川下流地区水害タイムライン検討会(第5回)」を開催しました。タイムラインは、地域住民の円滑な避難を図るために必要な行動項目やタイミングを関係機関と連携して、災害が発生する前までに安全な避難を行うための事前防災行動計画を策定するものです。今回の検討会では令和元年度の試行運用の振り返りとこれまでの検討会を踏まえて作成した「常呂川下流地区(常呂自治区)水害タイムライン試行版」に基づく検証訓練を実施しました。

- 開催日時 令和2年2月13日(木) 14:00 ~ 17:00
  - 実施場所 北見市常呂町多目的研修センター 1階大ホール(北見市常呂町土佐2番地1)
  - 参加機関 北見市、網走開発建設部、網走地方気象台、北海道オホーツク総合振興局、陸上自衛隊、北海道警察、北見地区消防組合、北見市社会福祉協議会、北見市教育委員会、きたみ市商工会、常呂町農業協同組合、JA北海道厚生連、北海道電力株式会社、常呂自治区内町内会
- 計 14機関 72名

## 1. 座長挨拶

開会にあたり、座長である東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター 松尾一郎客員教授より「令和元年度の出水期には本州で大きな災害が発生したが、このような状況は全国のどこでいつ起こっても不思議ではないと考えている。このため、今回の検討会での振り返りと訓練を踏まえ、常呂川下流地区水害タイムラインを各機関の行動計画に反映させていって頂きたい。」と開会挨拶をいただき、関係機関72名が参加し、第5回検討会が行われました。



松尾一郎 座長

## 2. 令和元年度試行運用の振り返り

事務局より令和元年度の試行運用を踏まえた課題と対応案について説明がありました。試行運用を踏まえた主な課題はタイムラインステージの移行に関わるものであり、タイムラインステージ1および2の移行基準の見直し、タイムライン運用終了の目安の新規設定について了承されました。

## 3. 検証訓練

はじめに事務局より第4回検討会での訓練状況と検証訓練の進め方について説明がありました。

訓練は第4回検討会に引き続き、常呂自治区での水害発生を想定したシナリオを用いて実施しました。今回の訓練はタイムラインステージ3から開始し、主に住民避難対応に関する行動や情報伝達について「常呂川下流地区水害タイムライン試行版」に記載されている項目を参照しながら、各機関の防災行動の手順・流れを時間軸に沿って確認したほか、他機関との情報伝達のタイミングや流れ、伝達内容等を確認しました。



## 4. 全体講評・話題提供

検証訓練後、松尾一郎座長から「第4回検討会と今回で一通りの訓練が出来た。昨年は本州で大きな災害となったが、網走開建管内では幸いにして大きな被害を生じさせるような現象は発生しなかったが、地球温暖化等により雨の降り方が変わってきていることを考慮するとこの管内においても大雨災害は発生する可能性が高い。昨年の本州の災害を対岸の火事とせず、次年度においても繰り返し訓練を行い、タイムラインを深めていって欲しい」との全体講評と令和元年の豪雨災害事例について話題提供を頂きました。

## 5. 閉会

事務局から次年度は台風シーズン前の顔合わせを含めた検討会と出水期後の振り返りのための検討会を開催する予定であることが伝えられた後、司会の挨拶で第5回検討会は閉会となりました。